

セ ボ ネ

タガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2021.1 No.201

今月のトピック

特集●

「この夏、チャットもはじめたよ。」
～せたがやチャイルドライン、22年目の新たな取り組み～

まちの市民力! ● テヅクリ畑の会

キラリ世田谷人 ● 矢島佐世さんを偲ぶ



イラストレーション●高根 洋子
高齢のため、毎日かかさず運動して体を鍛えながら、近所で食事作りのボランティアをしています。趣味として、長年、水墨画を描いています。

●わたしの世田谷

長いこと世田谷に住んでいて、私の第二の故郷です。とても住みやすく、安心して住める街です。今は、ボランティアの食事作りが生きがいです。

●特集

「この夏、チャットもはじめたよ。」

～せたがやチャイルドライン、22年目の新たな取り組み～

せたがやチャイルドラインは、1998年
から電話で子どもの声を聴き続けてき
てきた。そして、この夏、電話と並
行してオンラインチャット事業を開
始した。コロナ禍にありながらも新
たな挑戦に踏み出したせたがやチャ
イルドライン。22年の活動で大切
にしてきたものを振り返ってみま
した。



約束を守るおとなであること

チャイルドラインは、18歳までの子どものための専用電話です。子どもたちに対して、「秘密は守る」「名前は言わなくていい」「どんなことも一緒に考える」「途中で電話を切ってもいい」との4つの約束を掲げています。かけたことも話した内容も秘密で、匿名性が守られた中で安心して話せる電話であること、どんなことでも話していい場で、助言や指導ではなく一緒に考えるおとながいること、子どもの気持ちや状況次第で電話を切っていいことを保障しています。

普段の生活の中で、おとなはついに、子どもを「教え導くべき対象」にしてしまいがちです。「あなたのため、将来のため」と思っている言動によって、子ども自身が「いま感じている気持ち」や「本当に言いたかったこと」を蔑ろにされ、「自分で考えて決める主体である

こと」を奪われている状況がしばしばあります。

そうした状況を変えていきたいとの思いで生まれたチャイルドラインは、おとなも子どもも対等であること、子どもが主体となって話せることを大切に考えています。それらを大切にするため、4つの約束を守るおとなであることが私たちの活動の前提です。

世田谷で産声を上げ、

全国に広がった

そんなチャイルドラインは、ここ世田谷で、日本での産声を上げました。1997年、元世田谷ボランティア協会理事長の牟田悌三さんから中心メンバーがチャイルドライン発祥の地のイギリスに学びに行き、10か月の準備を経て、1998年に24時間2週間の「せたがやチャイルドライン」を試行的に開設しました。翌年も24時間2週間で実施し、2000年から世

田谷ボランティア協会自主事業として常設実施にこぎつけました。世田谷での開設以来、各地でチャイルドラインを設立しようという動きが高まりました。各地の交流と普及を図るため、1999年、「チャイルドライン支援センター」が発足。現在、全国に約70

団体があり、年末年始を除く毎日16時から21時、全国共通フリーダイヤルで電話を受けています。せたがやチャイルドラインでは、地域の子どもの声を地域で受け止めたいと考え、せたがや独自の電話番号も維持したうえで、全国共通フリーダイヤルに参

加しています。こうして毎年、年間延べ2000人の子どもたちの声を聴き続けてきました。子どもの力を信じて、声を聴く
試行開設の当初は「電話相談」や「相談員」と表現していました



Char-la^{チャラ} せたがやチャイルドライン広報紙 2020年9月発行

18才までの子どものための専用電話

せたがやチャイルドラインは、この夏、チャットもはじめたよ。

夏休み、どうだったかな？
今年も、長い休校期間があって、分散登校があって、短い夏休みで……。いろいろ我慢して過ごしたことも、多かったんじゃないかな。

「だれかと話したいな」と思ったとき、ぜひ、チャイルドラインに電話してみてね。つらいことも悲しいことも、気になることも嬉しいことも、何を話してもいい電話です。

でも……。 「だれかと話したいな」と思っても、電話で話づらいときもあるよね。そんなときのためにと思って、せたがやチャイルドラインでは、去年から準備を重ねて、ついにこの夏、チャットを始めることになりました。


電話でも、チャットでも、安心して話せるほうを選んでみてください。

せたがやチャイルドラインから、子どもたちへの約束

- ・ ヒミツはまもる
- ・ 名まえは言わなくていい
- ・ どんなことも、いっしょに考える
- ・ でんわやチャットを途中で切ってもいいんだよ

みんな、どんなことを話してるの？

どんなことを話してもいい電話・チャットだよ。でも、やっぱり少し、気になるかもしれないね。実際にかけてくれた電話の内容を、秘密を守るために書き送って、ご紹介しています。



明日、学校休んじゃダメかな
気まずくなった友達、今日「おはよう」って言ってくれた！
ぼくのことで、親がけんかしてる
暑口書かれて、夏が出そうだった

チャイルドラインのことを、もう少し詳しく

「子どもの声をそのまま受けとめる」ことを大切にするチャイルドラインは、ここ世田谷で、1998年に24時間2週間間の試行というかたちで、日本での産声をあげました。「子どもたちをとりまく環境を何とかしたい」という地域のおとなたちの熱い思いから踏み出したこの第一歩。22年の時を経たいま、全国で70のチャイルドライン団体が子どもたちの声を電話で受けとめています。チャットを行う団体も少しずつ増え、現在18団体となりました。せたがやチャイルドラインでは、これまで毎年、年間延べ2,000人の子どもたちの声を電話で聴きつけてきました。

おとなの方へ

せたがやチャイルドラインでは、毎年「受け手（電話を受けるボランティア）養成研修」の人口となる「公開講座」を開催しています。2020年度は新型コロナウイルスの影響から、オンラインでの公開講座を9月～翌月に（全8回）予定しています。子どもと連絡がかわってきただけの講座による誤解やワークは、子育てに役立つことも多いと思います。「子どもの声をそのまま受けとめる」ことがどんなに難しく、奥深いことかを実感いただけると思います。「受け手」にならなくても、興味のある団体の皆さまのご参加もできます。下記問合せ先へご連絡ください。

せたがやチャイルドライン広報紙「Char-la」2020年9月発行
発行：（株）世田谷ボランティア協会 せたがやチャイルドライン運営委員会
問合せ先（事務局） 電話 03-5712-5101 メールアドレス charla@otagajama.or.jp
ホームページ <https://www.otagajama.or.jp/about/childline>

※せたがやチャイルドラインのチャットは「第三者による犯罪の防止」の目的を以て開始することができず、実施していません。



夏休み明けに世田谷区内の子どもたちに届けました。

が、「子どもが主体であり、おとなが主体となって解決する電話ではない」という考えから、相談という言葉を使わず、電話を受ける人を「受け手」と呼んでいます。受け手は専門家である必要はありません。数か月にわたる「受け手養成講座」を通して、子どもの声をそのまま受け止める難しさや面白さ、奥深さを実感していきます。

受け手が電話を取ると、開口一番、「名前、言わなくていいですか?」という子どもも、「たいたことじゃないけど、いいですか?」と言う子どももいます。しばらく違う話をしてからやっと、本当に話したかったことを話出す子どももいます。普段からたくさん気を遣って生きている子どもたちが安心して話せるために、受け手のすることは、子どもの力を信じて、声を聴くことです。子どもは話しているうちに、いまの自分なりの答えを見つけて、あるいは折り合いをつけて、自ら電話を

切り、自分の場所に戻っていきます。そんな瞬間を共にできるとき、受け手も幸せな気持ちになります。

でも、例えば、呂律の回らない声でリストカットしたと話す電話がプツツと切れてしまったとき、受け手は無力感や不安を感じることもあります。そうした気持ちを一人でそのまま持ち帰らないために、受け手同士や、受け手を支える「支え手」が存在します。電話を受け続けるためには、受け手自身も支えを必要とするのです。

この夏、チャットを開説

近年、固定電話の減少や格安スマホの広がりから、電話という手段を持たない子どもや、電話をかけて話すことに抵抗を感じる子どもが増えている状況があります。そうした子どもの声も受け止めたいと、チャイルドライン支援セン

ターでは2019年度からオンラインチャット事業を本格実施しました。現在18団体が、電話と並行してチャットも開設しています。

せたがやチャイルドラインでも昨年からの検討会を立ち上げ、文字によるコミュニケーションを学ぶ養成研修を実施したり、セキュリティ対策基準等を整備したり、トリアル実施を行いながら準備を進めてきました。そしてこの夏、チャットを開設しました。電話でもチャットでも、安心して話ができるほうを選んでほしいとの願いを込めて、現在、月2回の活動を積み重ねているところです。

チャットは文字だけのやりとりのため、込められたニュアンスが分かり難かったり、一つのやりとりに時間がかかったりするという特徴があります。電話でなら相づちで伝わったようなことも、丁寧に言葉に置き換えていく必要があります。そうした電話との違いを踏まえて試行錯誤中ですが、電話

と同様に、子どもの力を信じて、子どもが主体となって話すことの大切さを実感しています。

いろんなかたちで、

たくさんのボランティアに
支えられている

せたがやチャイルドラインは、受け手、支え手だけでなく、年間の運営を考える運営委員、広報活動としてのチラシやカードなどの



大好評の手作りマスク。
世田谷ボランティアセンターの他、
世田谷美術館、世田谷文学館でも販売されています。

制作・配布、活動資金確保のための手作り品の制作、バザー品の提供、販売、寄付といった様々なかたちで、たくさんのボランティアに支えられています。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響が様々にあつた年でしたが、これまで週5回の電話開設でしたが、4月に10日間の休線を行った後、週1回の時間短縮で再開。現在、電話は週2回プラスα、チャットは月2回の活動となっています。例年5月から開始する「受け手養成講座」も、9月からウェブ会議ツールZoomを利用しての開催となっています。

感染症の影響は今後もどうなるかは分かりません。けれど、4月に公共空間や社会的機能が圧倒的なかたちで閉鎖した状況を経験したのち、できる対策と工夫をして再開し、継続してきました。活動できる人、いまは活動しない人、受け手養成講座を受け始めた人、手作り品にマスクを取り入

れた作り手…、たくさんの一人ひとりが形づくっている、せたがやチャイルドラインです。開設から22年、多くの人との出会いや別れを経験してきました。その喜びも痛みも胸に置きながら、いまでできることを考え、ゆっくりじゅくり進んでいきたいと思えます。

講演会のお知らせ

「子どものいのちを守るには」
虐待事件を取材して〜」

児童虐待や家族の問題について多くの取材をしてこられたルポライター・杉山春さんの講演会を開催します。詳細は11ページをご覧ください。

（寄稿／せたがやチャイルドライン
広報担当）

畑と農家を大切に!

テヅクリ畑の会



まちの 市民力!!

取材・市川徹

●そこで暮らす
街の中で地域やそとに活動している
人たちが一緒に活動している
団体を紹介します

テヅクリはたけの会は、主に喜
多見で地元野菜を楽しむ企画や農
家のお手伝い（援農や販売支援）
をしているグループです。今回は
代表の田島文一さんにお話を伺い
ました。

田島さんは喜多見生まれの喜多
見育ち。子どもの頃の喜多見は農
家も多く、ご自身も近所の森や小
川で遊ぶなど自然豊かな土地だっ
たと言います。しかし小学生の頃
から開発により農地や自然が徐々
に減り始め、サラリーマンとして
生活しながら危機感を感じてきま
した。そこで定年後に地元の畑に
関わりたいと思い立ち、2016
年夏から農業学校に通う一方、喜

多見農業公園の運
営を担当するNP
O法人せたがや喜
多見農とみどりの
活動にも参加しま
す。そのときにで
きた仲間たちと
もにテヅクリはた
けの会の活動を2019年2月頃
にスタートしています。

現在は、農家さんの好意で使わ
せていただいている畑の活動や援
農のほか、地元野菜などを販売す
る朝市「てづくり市場」の開催（毎
月第3日曜日）、農に関する映画
上映会、地元野菜を楽しむお料理
会、農産物の商品化を模索して紫
蘇ジュースやジャムづくり、農の
見学ツアーなどを行っています。

会員制度などは特に設けておら
ず、活動ごとに関心あるメンバ
ーが集る形態で、運営活動の参加は
10〜15名ほどだそうです。

田島さんは、活動を通じて農家
と住民の接点づくりをしたいと言

います。農家さんに相続を乗り越
えて農地を残したいと思ってもら
いたい、農家のみなさんに地域に
関わるのが楽しいと思ってもら
えるような社会にしたいそうで
す。そのためにも、周りの人たちが
農を大切に思っていることを発
信していくことが必要だと考えて
活動されています。

しかし、実際にできることには
限界があると田島さんは言いま
す。「畑があるって大切だね」と
思えるムーブメントをつくるため
にも、いろいろな人に農の継続を
考える活動に関わってほしいそう
です。田島さん自身もこんなに苦
労するなら活動をやめようと思う
ことがあるそうです。それでも毎
回楽しく喜んで一緒に活動する仲
間があるのが励みだとか。農業経
験の有無は関係ありませんので、
みなさんもぜひ参加してみたいこ
とがあるはず。



いつまでも一緒に
矢島 佐世さんを偲ぶ
やじま さよ

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材 ● 星野 弥生

キラリ世田谷人にいつかは取り上げようと密かに思っていた矢島佐世さん、実現する間もなく、去る10月4日に旅立ってしまわれました。矢島さんは、世田谷で育ち、ずっと世田谷に住み、地域のさまざまな活動に関わっていました。「一緒にやらない？」と誘うと、「面白そう！」と喜んで加わり、いやな顔ひとつせずどんな役をもこなしてくれました。とりわけ入れ込んでいたのが子どもに関わる活動。「地域のみんなで子育てしよう！」をモットーに、幼児のために作られた「のざわテットーひろば」では、ボランティア、そして理事の役もつとめ、まるで自分の

心を与えてきたでしょう」と、一人のおかあさんは嘆き悲しんでいました。

雑居まつりでは、「神戸をわすれない・せたがや」のお店で、神戸からのおまんじゅうを売り、コーヒーを淹れ、「ポロ市」では、チャイルドラインのリサイクルのお店で、着物を選び、手入れをし、お客にアドバイスをしながら販売していました。矢島さん自身、すてきに着物を着こなし、その姿が凜としていた、と多くの人たちが懐かしみます。

2011年3月11日の震災のあと、世田谷でさまざまな市民グループが、福島の子どもたちに世

孫のように小さい子どもたちと遊び、お母さんたちの相談相手になっていました。「矢島さんの存在は乳幼児の親子たちにどれだけ沢山の安心

田谷で外遊びを楽しんでもらおうとネットワークを組んだ「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」にも矢島さんは運営委員として参加。春の砧公園でのお花見では、お寿司やサンドイッチを手作りする仲間でもありました。何年も続いていた「優れたドキュメンタリー映画を観る会」による下高井戸シネマでの春の「ドキュメンタリー映画祭」の場にも、区内の福祉施設の手作り品の販売コーナーに、いつも彼女の姿がありました。

世田谷ボランティア協会の評議員、そして「ボランティア協会をささえる会」の世話人としても、地域でのボランティア活動を進める重要な役割を果たしてくれた矢島さんでした。いつもそこにいた貴女がいけないのは本当に寂しい。尽きせぬ感謝とともに、まだまだ私たちを見守っていてください。ね、と願うばかりです。本当にありがとう！

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアさんをお探しして紹介しています。

のかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも取り組んでいます。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 家事サポートして下さる方募集

芦花高校近くにお住まいの60代女性が、病気の後遺症で半身不自由なため家事をサポートして下さる方を探しています。お一人暮らしを気持ちよく維持するため、暮らしの中のちょっとした手助けを必要としています。曜日・時間・時間帯相談(たとえば月・金曜日午前中1時間くらい、週1回でもOK、短時間でもOK)詳細はお問い合わせ下さい。

●日時／曜日・時間応相談
●場所／ご自宅
●条件／女性希望 有償(区の制度を利用)
●問合せ／玷ボランティアビューロー 準備室
TEL 6411・4007
kinutabor@otagaisama.or.jp

東 犬の散歩ボランティア募集(深沢近辺)

深沢に住む女性が、犬の散歩をしてくれる方を探しています。女性性がケガをしてしまい、毎日3〜4回行っていたお散歩ができなくなってしまいました。犬は大型シラブラドル、6歳ですが、おとなしくお利口な女の子です。家族がお散歩に行けない平日を中心に、30分ほど散歩をしていただけの方、お待ちしています。複数名でのサポートを検討しています。

●日時／基本的に平日。曜日・時間帯などは相談
●場所／自宅(深沢) 近辺
●交通／等々力駅徒歩10分程度
●条件／大型犬のため、犬に慣れた方が望ましいです。交通費支給(要相談)
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabora@otagaisama.or.jp

東 インドネシア出身の姉弟と 遊んでくれるボランティア募集

玉川地域に住むインドネシア出身のご家族が、3歳(女の子)と2歳(男の子)のお子さんと遊んでくれるボランティアを探しています。お母さんが出産直後でなかなか動けないため、公園や家で一緒に遊んでくれるとうれしいです。おさんたちは日本語で話します。お姉ちゃんはお絵かきが大好き、弟はちよっと人見知りですが、明るく元気いっっぱいの二人です。

東 登校付き添いスタッフ募集

4月から小学校5年生になる男の子の登校に付き添ってくださる方を探しています。男の子は、朝起きて気持ちを整えてから、学校へ行ける日は少し遅い時間から登校します。今はお母さんが付き添っていますが、お母さんは4月から資格取得の勉強を始めるため、付き添いができません。本格的に付き添いをお願いしたいのは4月からですが、その前に、お互いに慣れるためにも、少しずつでも付き添いを開始してただけると良いかなと思っています。子ども好

小 おもちゃを拭いてくださる方を探しています

梅丘にお住まいの重度障害のあるお子さんの使ったおもちゃを拭いてくださる方を探しています。おもちゃが好きで、よく舐めてしまい、唾液に埃がついたりしておもちゃが汚れてしまいます。ほっておくとカビが生えたりして、それをなめると病気になるってしまふ可能性があるため、毎日拭く必要があります。おもちゃを水拭きして、消毒液を吹きかける難しくない作業で

有償スタッフ募集

障害者の移動支援 従事者募集

知的障害者の移動支援を担う人が少なく、サービスを受けられないケースが増えています。東京都が実施する知的障害者の移動支援研修や初任者研修以上を持つていれば従事できます。本事業所は世田谷区内に居住している障害者の移動支援を行っている非営利団体です。詳細はお問合せください。

- 日時/平日の昼間、曜日、時間等は応相談
 - 場所/自宅(上野毛)や近くの公園など
 - 条件/子ども好きの人(子育て経験のある方、保育の勉強をしている方など)
 - 問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabori@otagaisama.or.jp
- 日時/随時
 - 場所/屋外の散歩、施設間の移動など
 - 日時/平日の時間。曜日、時間応相談
 - 場所/梅丘1丁目のご自宅
 - 募集人数/数名
 - 条件/女性
 - 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp
 - 交通/利用者宅への直行直帰が原則
 - 条件/知的障害者移動支援研修または初任者研修終了、交通費は全額支給
 - 問合せ/特定非営利活動法人ノソーシャルケア清和会 NPOわかば 担当 辻本
TEL 5712・5185
npowakaba@kaigo-wakaba.jp
http://www.kaigo-wakaba.jp/

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

有償スタッフ募集

東 ひとり親家庭のサポートをしてくださる方募集!

世田谷区内のひとり親家庭にお
伺いし、子ども(保育園・小学生)

の遊び相手、宿題等の見守り、夕
食づくりなどをしてくださる方を
探しています。親御さんが多忙や
不調で余裕がなかったり、お子さ
ん自身がサポートを必要としてい
るご家庭で、お父さん・親御さん
ともに安心して楽しめてくださるよ
う、力を貸していただけたら幸い
です。学生さんからシニアの方ま
で大歓迎です!

活動日時や内容など、詳細はお
電話かホームページからメールで

講座・その他・募集

東 NPO・市民活動相談

世田谷ボランティア協会では、
ボランティアグループ・任意団体
の立ち上げや運営に関する相談
や、NPO法人の設立も含めたN
PO・市民活動に関する基礎的な
個別相談にも応じています。

グループの運営に悩んでいる、
助成金情報を知りたい、NPOの
て何? など、いろいろなご相談

お願いいたします。

●日時/月々金曜日、17時〜21時
(2〜3時間程度。ご家庭ごと
異なります。週1日程度)

●場所/世田谷区内のご家庭

●交通/小田急線・京王線・田園
都市線・東横線など

●条件/有償、交通費支給、研修
あり

●問合せ/NPO法人日本子ども
ソーシャルワーク協会

担当 水野
TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

を受けています。すでに活動して
いる方も、これから何か始めたい
方も、個人・団体問わず相談可能
です。まずはお電話でお問合せく
ださい。(相談無料、事前予約制)

●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 大垣内
TEL 5712・5101

小 代田ピエロー「近所カフェ 『百人一首を楽しみましょう』」

以前、新年会でおこなった百人
一首が好評で、「是非またやって
ください」というリクエストにお
こたえし、百人一首企画の再登
場です。坊主めくりも楽しめます。
初めてのかたも大歓迎。見学参加
も大丈夫です。お気軽にお立ち寄
りください。

●日時/1月16日(土) 13時から
16時(時間内の出入り自由)

●場所/代田ボランティアピエ
ロー 2階(階段のみ)

●問合せ/代田ボランティアピ
エロー
TEL 3419・4545
daitapora@otagaisana.or.jp

東 せたがやチャイルドライン 講演会 『子どもの命を守るには〜虐待事件を取材して〜』

社会の変化に伴って、子どもた
ちを取り巻く環境も大きく変化し
ています。多くの事件を取材して
こられた杉山春さんからお話を伺
い、子どもを命を守るために、わ
たしたちは何ができるのか、参加
者の皆さまと一緒に考えていく機
会にしたいと思えます。

●講師/杉山春(ルポライター)
●日時/2月6日(土) 14時から
16時半

●開催方法/①WEB会議ツール
「Zoom」を使用して実施

②世田谷ボランティアセンター
会議室 (Zoom画面を映写)

●定員/①70名②15名

●対象/子どもの問題に関心のあ
る方、子育て中の方、学生

●参加費/1000円

●交通/三軒茶屋駅徒歩5分

●申込/電話、またはメールで。
メールは件名に「特別講演会申
込」、本文に氏名、電話番号を
明記してご送信ください。

●問合せ/せたがやチャイルドラ
イン事務局 担当 樽井・青木
TEL 5712・5101
childline@otagaisana.or.jp

東 災害ボランティアコーディネーター研修会

災害ボランティアコーディネーターにご登録している方を対象に、2019年に発生した台風19号の被害時のボランティアによる復旧支援活動やその後の取り組みなどを通じて、コーディネーターとしての基本的な役割や姿勢を学ぶ研修会とし、コーディネーターとしての意識を高め、その育成を図る研修会です。

また、コーディネーター登録されていない方でも参加できます。事前に配信されている講座をご視聴いただくことより理解が深まります。詳細はホームページをご覧ください。

東 バザー提供品受け取り一時休止のご案内

いつもバザー品のご提供にご協力いただき、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バザーを休止しております。そのため、バザーの物品提供の受付（持ち込み及び宅急便などの郵送）を当面の間、休止とさせていただきます。ご理解

●日時／1月23日（土）14時から16時

●開催方法／①会場②オンライン配信

●場所／玉川区民会館ホール（等々力3-4-1）

●交通／等々力駅徒歩一分

●参加費／無料

●定員／①150名②制限なし

●申込み／せたがや災害ボランティアセンターのホームページよりお申込みください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 柳・高橋・久我

TEL 5712・5101
sajgai@otagaisama.or.jp
https://otagaisama.or.jp/sajgai/

解ご協力のほど、よろしくお願ひします。

●次回バザーの開催は未定です。再開が決まり次第お知らせいたします。

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 5712・5101

せたがや福祉区民学会第12回大会 「未来につなぐせたがや福祉のきずな」

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、世田谷区内の大学を会場に、大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、発表を通じて実践活動・研究を深め合うものです。

第12回大会は、新型コロナウイルスと感染拡大防止対策のためウェブ開催とし、発表の要旨・動画と発表事例集を世田谷区福祉人材育成・研修センターホームページ上で公開します。

今大会では「学びあい、広げようせたがや福祉の輪『未来につなぐせたがや福祉のきずな』」をテーマに国際医療福祉大学大学院教授の大熊由紀子氏の基調講演

のほか、世田谷区の福祉実践活動について「新しい生活様式における取組み」や「多様性を認め合う共生社会づくり」など7テーマ48本の発表を公開します。詳細はホームページをご覧ください。

●公開期間／1月15日（金）～2月15日（月）

●公開場所／世田谷区福祉人材育成・研修センターせたがや福祉区民学会ホームページ

●問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村木

TEL 6379・4280
t.muraki@setagaya.or.jp
https://www.setagaya-jinzai.jp/

ボランティア保険 新年度料金改定のお知らせ

2021年度のボランティア保険について一部改定となりますので、お知らせいたします。次年度（4月以降適用分）の加入手続きの際はご注意ください。

●変更内容／
①Aプラン（基本コース）の保険料の引き上げ

【現行】 3000円
【変更後】 3500円

②基本コースAプラン以外の補償金額変更
※詳細はお問合せください。
※新型コロナウイルスの補償については、2021年も引き続き補償可能となります。

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 5712・5101

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今…今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

年が明けて2021年、梅丘ビューローでは1/23(土)失語症カフェ、代田ビューローでは1/16(土)ご近所カフェ、玉川ビューローでは1/16(土)遊ぼう会を予定しています。ぜひお立ち寄りください。

◆ふらっと& withより

昨年を一人もかけることなく終えられた「ふらっと」です。隣人と席が離れていても、手づくりの昼食を笑顔で楽しんでいます。今年も「ひとりではない」ことに安堵しながら過ごしたいです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

2/6(土)にルポライターの杉山春さんの講演会を開催します。この機会にぜひご参加ください♪

詳しくは特集ページをご覧ください。

編集後記

■あけましておめでとうございます!今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

■私は地元のお寺を必ず訪れますが、今年は家から手を合わせ、「健康第一」を祈願します。あとの願ひ事は内緒です(笑)

■今年は、新型コロナウイルス感染症の収束を願ひ、当協会のイベントを開催し、多くの方々と交流したいと思っています。ご近所さんからも、期待と応援のメッセージを多く頂いています。感謝しています。(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

